

## Lesson31

※意向形（意量・意志）

語尾「う」、「よう」→意量助動詞（不產生語尾變化的助動詞）

I グループ 將動詞辭書形語尾（最後的仮名）→「お」段音+「う」

語尾「う」段音 → 「お」段音+ う

か 買 う → か 買 お う

い 行 く → い 行 こ う

お 押 す → お 押 そ う

た 立 つ → た 立 と う

II グループ 辭書形語尾「る」→ 「よう」

み 見 る → み 見 よ う

い る → い よ う

た 食 べ る → た 食 べ よ う

ね 寝 る → ね 寝 よ う

III グループ

す る → し よ う

く 来 る → こ 来 よ う

※ 意向形的用法

① 用於常体的句子

→意向形作為「 ～ ましょう」的常体形

表常体的意志、勧誘 的語氣

「意志」→乃指說話者的心意、亦即說話者自己催促自己去做某動作之意。

「勧誘」→說話者勸導或誘使對方與自己一起做某動作之意。

中文中皆含有「 ～ 吧！」的語氣、其差別在說話者是以自己或對方為催促或勧誘的對象而定。

例)

はや 帰 ろ う。  
→ 早く 帰 ろ う。

→明日の朝は早く起きよう。

→一緒に部屋を掃除しよう。

→もう一杯飲もう。

→一緒に学校へ行こう。

→ここでバスを降りよう。

※ V + う（よう） + か

句尾+「か」有商量之意味、中文→「～好嗎？」

例)

→一緒に歌を歌おうか。

→少し休もうか。

※ 意向形 + と 思っています。 助詞「と」提示思維的内容

当說話人向对方表明做某種動作意志的時候、一般不用意向形来单独表達、而是以「意向形+ と 思います」、或 「意向形+ と 思っています」来表達「意向形+ と 思います」→表示說話人說話時的意志

「意向形+ と 思っています」→表示說話人在說話之前已經下了決心而且現在依然具有這種意志、有“打算”、“要・・・”之意。

例)

→今から買い物に行こうと思います。

→今度の日曜日は友達と映画を見に行こうと思っています。

→あの人は日本料理を食べようと思っています。

→私は来週また来ようと思っています。

→大学で（日本で）何の勉強をしようと思っていますか。

→あの<sup>ほん</sup>本を<sup>か</sup>借りようと<sup>おも</sup>っています。

→私<sup>わたし</sup>は<sup>りゅうがくしけん</sup>留学試験を<sup>う</sup>受けようと<sup>おも</sup>っています。

「意向形う（よう）+ と 思います」→只用於表示說話人的意志（第一人稱）  
「意向形う（よう）+ と 思っています」→沒有人稱上的限制、可表示說話人的意志、也可以表示說話人以外的任何人意志。

※ V-辞書形 + つもり です。

→這個句形也用於表示說話人的意志。和「意向形う（よう）+ と思います」的意思並無太大差別。但多用於表示確定的意志和堅定的意志。

例)

→<sup>なつやす</sup>夏休みに、<sup>りょこう</sup>旅行する つもりです。

→私<sup>わたし</sup>は<sup>しがつ</sup>4月<sup>にほんごがっこう</sup>から日本語学校に<sup>かよ</sup>通うつもりです。

→<sup>ともだち</sup>友達の<sup>たんじょうび</sup>誕生日に<sup>なに</sup>何を<sup>おく</sup>贈る つもりですか。

→<sup>ゆうがた</sup>夕方<sup>ろくじ</sup>6時に<sup>しゅっぱつ</sup>出発する つもりです。

※ V-ない形 + つもり です。(否定) 不打算～。

例)

→私<sup>わたし</sup>は<sup>さんじゅうごさい</sup>35歳に<sup>けっこん</sup>なるまで結婚しない つもりです。

→あのレストランは<sup>おいしくない</sup>おいしくないなので、もう<sup>い</sup>行かない つもりです。

→<sup>あした</sup>明日は<sup>い</sup>どこへも行かない つもりです。

→<sup>なに</sup>何も<sup>か</sup>買わない つもりです。

→<sup>だれ</sup>誰にも<sup>あ</sup>会わない つもりです。

※ V-辞書形 + <sup>よてい</sup>予定 です。

※ 名詞N の + <sup>よてい</sup>予定 です。

「予定」表示“事先已經決定了的事情”這個句形是敘述将来進行的事情、因此修飾「予定」的部分、時態僅限於現在時態。

例)

→ <sup>わたし</sup>私は <sup>はちがつ</sup>8月の終わりに <sup>お</sup>国へ <sup>かえ</sup>帰る <sup>よてい</sup>予定です。

→ <sup>ぶちょう</sup>部長は <sup>らいしゅう</sup>来週 <sup>げつようび</sup>の月曜日に <sup>おおさか</sup>大阪へ <sup>しゅつちよう</sup>出張 <sup>よてい</sup>する 予定です。

→ <sup>ひこうき</sup>飛行機は <sup>ゆうがた</sup>夕方 <sup>ろくじ</sup>6時に <sup>つ</sup>着く <sup>よてい</sup>予定です。

→ <sup>しゅつちよう</sup>出張は <sup>いっしゅうかん</sup>1週間 <sup>よてい</sup>ぐらいの 予定です。

「予定」為名詞、亦可如下使用。

例)

→ <sup>しゅつちよう</sup>出張 <sup>よてい</sup>の予定に <sup>ぶちょう</sup>ついて <sup>そうだん</sup>部長に 相談します。

→ <sup>にちようび</sup>日曜日は <sup>なに</sup>何か <sup>よてい</sup>予定が ありますか。

※ まだ ～ V-て いません

※ 和L7「まだ ～ です」L27「まだ ～ ません」一樣

「まだ ～ V-て いません」表示動作没有完了、事情没有發生。

例)

→ A: <sup>ひる</sup>昼ごはんは <sup>た</sup>もう食べましたか。

B: いいえ、まだ <sup>た</sup>食べて いません。

→ <sup>なつやす</sup>夏休みの <sup>よてい</sup>予定は <sup>き</sup>まだ決めて いません。